

～持続可能な健康づくりを目指します～

**笑顔で輝く職場から、明るく元気な未来をつくります！**

## 1 健康経営宣言

神奈川県住宅供給公社は、従業員の健康増進と働きやすい職場環境の整備により、従業員一人一人の活力や生産性が向上し、個人と組織の能力が最大限発揮できるよう、健康経営に積極的に取り組んでいきます。この取り組みの推進により、従業員の働きがいにつなげるとともに、社会的企業として、みなさまの安全・安心・豊かな暮らしを支えてまいります。

## 2 推進体制

総務担当理事を健康管理最高責任者(CHO)とし、総務部内に健康経営担当を選任して、産業医等専門家の協力を得ながら、健康経営に取り組んでいます。

## 3 取り組みの目標

### (1) 有所見割合が多い症例(高脂血症、肝機能障害)について

現状では、高血圧、糖尿病、貧血は全国平均を下回っておりますが、高脂血症、肝機能障害いずれも全国平均を上回っております。

今年度はこれらの健康課題を改善することを目的とした「腸活セミナー」やデスクワークによる目の疲れを改善することを目的とした「眼精疲労改善セミナー」を実施しました。今後も、引き続き医学的見地に基づくセミナーを実施するなど、生活習慣病予防の教育に注力し、2024(R6)年までに全国平均を下回ることを目標に取り組んでいます。

症例	有所見人数割合				全国平均(※1)
	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	
高血圧	9.9%	8.5%	3.6%	9.0%	18.3%
糖尿病	4.0%	5.7%	3.6%	11.7%	13.1%
<b>高脂血症</b>	<b>40.6%</b>	<b>36.8%</b>	<b>33.6%</b>	<b>34.2%</b>	31.2%
貧血	2.0%	4.7%	2.7%	2.7%	8.6%
<b>肝機能障害</b>	<b>25.7%</b>	<b>20.8%</b>	<b>19.1%</b>	<b>23.4%</b>	15.9%

※1 厚生労働省 R5年「業務上疾病発生状況等調査」第7表 定期健康診断実施結果(年次別)より。

### (2) 喫煙率について

男性の喫煙率は全国平均を下回っているものの、全体の喫煙率は上昇し、全国平均を上回る結果となっているため、喫煙率の低下に向け啓発活動などを行ってまいります。

年		2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	全国平均(※2)
喫煙率	全体	16.0%	19.0%	17.0%	19.0%	14.8%
	男性	18.0%	25.0%	23.0%	23.0%	24.8%
	女性	11.0%	8.0%	7.0%	11.0%	6.2%

※2 厚生労働省 国民健康・栄養調査(令和4年:直近公表年)表 83 喫煙の状況－喫煙の状況,年齢階級別,人数,割合－総数・男性・女性,20歳以上における、年齢調整した、現在習慣的に喫煙している者の割合(20歳以上)より

### (3) 働きやすい職場環境づくりに向けて

所定外労働時間を2017(H29)年以後、全国平均を下回ることを目標としてきました。ノー残業デー等の啓発もあり、所定外労働時間が低減した年度もありましたが、現状では目標には達していません。

年間の有給休暇取得日数は、月に1日有給休暇の取得を促進する「月いち休暇」の呼びかけもあり、増加傾向を続けており、全国平均を上回る日数・取得率を維持しています。

今後、働き方改革を推進し、所定外労働時間をさらに低減させ、2024(R6)年までを目標に全国平均を下回るよう取組みを推進しています。

年	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	全国平均(※3)
1か月所定外労働時間	10.3時間	10.2時間	11.9時間	11.6時間	10.0時間
年間有給休暇取得日数	12.5日 (取得率66.8%)	13.4日 (取得率71.6%)	14.0日 (取得率73.7%)	15.0日 (取得率77.0%)	10.9日 (取得率62.1%)

1か月の所定外労働時間については、管理職を除く直接雇用従業員を対象

※3 厚生労働省 R5「毎月勤労統計調査(事業所規模5人以上)」、「就労条件総合調査」より

#### 4 具体的な取組み

次の事項について、毎年実施計画を策定し、目標達成に向けて取り組めます。

##### (1)従業員の健康増進

- ①健康診断及びストレスチェックの受診率 100%(休職者を除く)を引き続き達成します。
- ②インフルエンザ予防注射を従業員の自己負担なしで接種する機会を引き続き確保します。
- ③健診やストレスチェックの結果に基づき、必要な従業員に産業医の面談を設定し、健康指導を継続します。
- ④高脂血症、肝機能障害及び糖尿病の改善に向けて、医学的観点に基づく医師等による生活習慣病改善セミナー等の社内研修を拡充します。
- ⑤従業員への「健康に関するアンケート」を継続実施し、課題を明らかにして、「健康経営ロードマップ」及びPDCA サイクルを更新します。
- ⑥よこはまウォーキングポイントの事業所参加を継続し、適正歩数を歩く「Kosha Walking」企画への参加率を向上していきます。(11月末時点で59.8%〔79名〕:前年同月比+8.3%〔10名増加〕)
- ⑦福利厚生の一環として、従業員がスポーツクラブ等を割引価格で利用できるよう総合型福利厚生サービスの利用を継続します。

##### (2)働きやすい職場環境づくり

- ①従業員のPCをノート型とし、社内無線LAN敷設、ポケットWi-Fi貸出により、社内だけでなく出張先や在宅勤務など場所にとらわれない働き方ができるようにしています。また、社内外手続きの電子化など柔軟で働きやすい職場環境をさらに整備していきます。
- ②Web会議の推進、ペーパーレス、押印省略などに取り組めます。
- ③手洗い・消毒の励行、マスクの効果的な場面での着用など、基本的な感染防止対策の徹底を継続します。
- ④毎週水曜日のノー残業デー、金曜日のノー残業推奨デーの徹底を継続します。
- ⑤一般事業主行動計画の目標に掲げた年次有給休暇取得率 65%以上の取得率達成を維持します。(取得率:令和3年71.6%、令和4年73.7%、令和5年77.0%)。参考:令和5年全国平均62.1%
- ⑥特定社会保険労務士の助言を受け「育児・介護休業等に関する規程」などの適宜見直しを進めます。
- ⑦引き続き、治療と職業生活の両立支援に積極的に取り組めます。

##### (3)健康経営認証制度等の取得について

- ①健康経営優良法人認定制度(中小規模法人部門)の取得継続を目指します。(経済産業省)
- ②横浜健康経営認証クラス「AAA」の継続取得を目指します。(横浜市)

令和6年12月25日

神奈川県住宅供給公社  
健康管理最高責任者(CHO)  
専務理事 仲野 直哉

【本件お問い合わせ先】総務部 総務広報課 健康経営担当:高須賀、田坂

電話番号:045-651-1842(平日8時30分~17時15分)